

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 23 日 作成

事務事業名		防犯灯整備事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島 正和
	基本事業	4	防犯に関する環境の整備			所属班	交通防災班	(内線)	1223
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	防犯灯等整備対策要綱(閣議決定)	
		1	2	1	4	10025		成果優先度評価結果 3	
								コスト削減優先度評価結果 4	
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 S48 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	施設関係や幹線道路の通学路(区で設置するもの以外)などで未整備路線への防犯灯新設や市が設置している防犯灯の修繕、電気料の支払いを行うものである。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	S48年頃、社会情勢、経済発展に伴い、防犯対策、交通事故防止の視点により取り組み始めた。平成18年2月27日の合併後も引き続き継続して実施。 近年は、犯罪や不審者事案の発生が増加傾向にある。
【業務の流れ】	① 地域(区、学校)からの要望、地域と協議、設置の有無の決定、設計書作成、契約事務、工事立合い 検査、電気料の申請、支払い ② 市民・通行者からの連絡の受理、現地確認、修繕の発注、確認検査、支払い
【主な予算費目】	需用費(光熱水費、修繕費)
【意見や要望】	・保護者、区長、学校より暗がり、犯罪の危険性があることから早急な設置要望がある ・設置場所次第では、近隣者より明るくて眠れない。また、農作物が育たないとの苦情がある ・市民アンケートの自由記載欄には、防犯灯に関する要望が多い。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 半段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・新設防犯灯7基を設置した。 ・既設の防犯灯59基の修繕を行った。 ・市管理分の防犯灯、年間5,171,266円の電気料の支払を行った。		平成21年度に同じ	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標		(単位)	(単位)
⇒ ア 年度工事回数		回	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
市民		⇒ ア 人口	人
		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
夜間においても安心して通行できるようになる。		⇒ ア 新設防犯灯の設置件数(市)	件
		⇒ イ 既設防犯灯の修繕件数(市)	件
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			
「夜間においても安心して通行できるようになる」には、市設置分の新設防犯灯、不具合の防犯灯をどれだけ修繕できたか、で判断する。22年度の目標値は前年度実績並みの新設10件、修繕50件とした。			

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	回		2	1	1	1	1	1	1	
	イ										
⑤ 対象指標	ア	人		54,027	54,407	55,124	54,856	55,732	56,281	56829	
	イ										
⑥ 成果指標	ア	件		20	9	10	7	10	50	10	
	イ	件		50	72	50	59	50	50	50	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	7,690	6,370	6,500	6,873	6,068	12,100	7,350
	人件費		(A)事業費計	千円	7,690	6,370	6,500	6,873	6,068	12,100	7,350
			(A)のうち指定経費	千円				0	0	0	
			(A)のうち時間外、特勤	千円				0	0	0	
			正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
			延べ業務時間	時間	270	180	180	220	220	220	220
			(B)人件費計	千円	1,072	720	716	876	876	876	876
トータルコスト(A)+(B)			千円	8,762	7,090	7,216	7,749	6,944	12,976	8,226	

総トータルコスト
全体計画
～年度

(期間限定複数年度のみ記載)

谷志市

事務事業名	防犯灯整備事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

※原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した	☒ 達成しなかった ⇒【理由】	防犯灯については設置場所の条件によって、設置費用がまちまちである。22年度は、1基当たりの設置費用が高くなり、目標の10基設置に至らなかった。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついていないか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】	22年度で肉付け予算(工事請負費)を補正し、目標達成に努めるものである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】	☐ 向上余地がない ⇒【理由】	市民からの防犯灯設置の要望は多く、要望箇所の調査を十分に行い、計画的な設置に努めていくことで、成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】	市が行う防犯灯設置に関する事業は、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】	22年度当初は、市で管理する分の防犯灯の電気料と修繕費の維持管理分のみである。さらに、防犯灯の整備が進んでいけば、電気料は増えていくことになる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】	電気料の支払い、修繕や工事発注事務に要する人件費のみである。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】	区で対応しない通学路等の主要道路について、市で整備するものであり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】	各区内の防犯灯の整備、維持管理については各区で行い、それ以外の不特定多数の人が利用する幹線道路などについて市で整備、維持管理を行っている。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・新設防犯灯7基を設置した。 ・既設の防犯灯59基の修繕を行った。 ・市管理分の防犯灯、年間5,171,266円の電気料の支払いを行った。
有効性については、要望箇所の調査を十分に行い、より危険性の高い箇所から計画的に防犯灯を設置していくことで、改善を図っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善)

☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

防犯灯設置の要望が多く、予算が増えるとなると市民の安全面を考慮し設置箇所を増やして、成果を高めたい。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

防犯灯の整備が進んでいけば電気料は増えていくことになるので、低消費電力、長寿命といわれているLED防犯灯の導入について、検討する必要がある。